

小学校では、女子より男子がいららすること
が多く不安定度が高いことを示している。

楽しいことやおもしろいことが多いというのが
14～30%前後であり、男子より女子のほうが生活
適応度が高く、反面無関心の者が多くみられる。
半数以上の者が学校や家庭生活で、いろいろな情

緒障害が見受けられる。

これは、学校や家庭を含めた社会生活における
環境不適應状態を示す者として、教師と児童、児
童と児童、両親と教師の対人関係も新たな視点に
立って検討すべきではなかろうか。

〔調査1-2〕 あなたは、学校や家庭生活で、まわりの人との関係をどのように感じていますか。

(中学校・高等学校)

選 択 肢	中 学 校						高 等 学 校					
	都 市		農 村		計		都 市		農 村		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ア. 歩調をあわせて やっていく	56.7	65.3	41.5	63.6	50.9	64.6	41.5	60.0	58.0	64.0	50.0	62.0
イ. 自分の思いどお りにする	6.0	2.8	14.6	2.3	9.3	2.6	19.5	10.0	4.0	6.0	11.0	8.0
ウ. 自分の考えをい れてくれる人と いっしょにやる	13.4	11.1	14.6	18.2	13.9	13.8	26.8	8.0	16.0	16.0	20.9	12.0
エ. 別になんとも 感じない	23.9	20.8	29.3	15.9	25.9	19.0	12.2	22.0	22.0	14.0	18.1	18.0

中、高校生全体としては、歩調をあわせてやっ
ていく子が半数以上であるし、男子より女子は協
調性があるようである。自分の思いどおりにした
い生徒は、高校生になるにつれてやや増加してく
るし、自分の考えをいれてくれる人とならっし

よに行動する生徒も、女子より男子が多いのは性
差といえようか。その反面なんとも感じない子は、
中学生に多く、そっけない仲間関係だが、ひとり
ひとりの実態を知って対処する年代層にきている
のだろう。

2. 男女交際は、どのような状態であろうか。

〔調査2-1〕 男女のグループで、日曜日にハイ
キングにいく計画をたてたら、でかける前に

親からいろいろと注意されました。いってくる
ことについてどう感じますか。

選 択 肢	小 学 校						中 学 校						高 等 学 校					
	都 市		農 村		計		都 市		農 村		計		都 市		農 村		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ア. 自分のためを 思って注意して くれる	62.0	74.2	66.7	78.8	64.4	76.3	49.3	66.7	34.2	59.1	43.5	63.8	24.4	60.0	58.0	68.0	42.9	64.0
イ. 自分の気持ち はわかっていない	4.0	8.1	11.1	5.8	7.7	7.0	10.4	18.1	14.6	18.2	12.0	18.1	19.5	12.0	14.0	14.0	16.5	13.0
ウ. べつになんとも 思わない	32.0	17.7	20.3	15.4	26.0	16.7	25.4	6.9	36.6	9.1	29.6	7.8	39.0	12.0	26.0	8.0	31.8	10.0
エ. そ の 他	2.0	0	1.9	0	1.9	0	14.9	8.3	14.6	13.6	14.9	10.3	17.1	16.0	2.0	10.0	8.8	13.0